

# 公益財団法人 Save Earth Foundation

## 2021 年度事業計画書

### 1. 事業活動

#### 1-1. 資源循環事業

当法人は、美しい地球を未来の子どもたちに残すため、廃棄物の再資源化の推進と資源循環の仕組みを開発し、持続可能な循環型社会の構築に貢献することを目指して本事業に取り組む。

循環型社会の構築においては、消費者・排出事業者・廃棄物処理事業者・生産者・行政といった全ての関係者が資源循環に対する意識を高め、それぞれの立場での役割を果たしていく必要がある。

本事業では、(1) 資源循環の重要性についての普及啓発活動、また (2) 廃棄物管理の適正化から再資源化に向けた支援、そして (3) それらの活動から得られる情報の分析調査研究による新たな資源循環の社会システムの開発や提案を通じ、循環型社会の構築に貢献する。

#### 【2021年度の事業内容】

事業	課題・項目	活動内容
公 1 資 源 循 環 事 業	<b>普及啓発</b>	
	① 食品関連事業者向け ゼロエミッション研究会の開催	・群馬県での小売、外食事業者による共同食リループの構築 ・廃棄物を再資源化するための効率化・合理化策の検討と実践
	② 一般に向けた啓発活動の実施	・家庭系廃棄物の発生抑制、消費者の意識向上のため啓発活動を行う
	③ 表彰、認定制度の検討	・廃棄物の適正管理、資源循環の促進に寄与する表彰・認定制度を検討する
	<b>適正化支援</b>	
	① SEF-Netユーザーの拡大(SEF主体)	・食品リサイクルループ参加事業所への導入
	② SEF-Netユーザーの拡大(提携パートナーとの協働)	・提携パートナーの強みを生かした提案 (法令遵守・リスク管理、食品系以外の廃棄物の再資源化、管理業務見直し)
	③ SEF-Netのシステム改善	・ユーザビリティ向上のためのミーティングを実施
	④ 既存ループの参加企業拡大	・ループ構築済み2地域(名古屋、群馬)の小売、外食事業者への働きかけを行う
	⑤ 賛助会員企業、SEF-Netユーザー向け食品リサイクルループ構築支援	・単独事業者による食品リサイクルループの構築を支援
<b>研究調査</b>		
① 愛知県循環型社会形成推進事業	・協議会事務局として補助事業を推進	
② SEF-Netデータ分析手法の検討	・集積される廃棄物データの分析・活用方法を検討する	
	サポーター／指定寄附増加に向けた対策	・事業活動における訪問、営業の機会を活用して支援拡大を要請

## 1-2. 森林再生事業

日本は国土面積の約66%が森林に覆われた、世界有数の森林大国である。森林は生物多様性の保全や地球温暖化の防止など、様々な機能を通じて私たちに多くの恩恵をもたらしている。この豊かな森林を未来の子どもたちに残していくことは、現代を生きる私たちの大切な役割である。そこで、当法人は豊かな自然と森林資源を未来の子どもたちに残すために本事業に取り組む。

本事業では、(1) 民有林や公有林の管理を受託して、それぞれの地域や森林の特性に合わせた再生保全活動を実施、また(2) 再生保全活動の過程において発生する間伐材などの森林資源の利活用を促進、そして(3) 森林をフィールドとした環境教育の機会の提供を通じて、自然環境の保全に貢献する。

### 【2021年度の事業内容】

		課題・項目	活動内容	
公2 森林再生事業	山武	再生保全 ① 森づくりの循環の構築と生物多様性に配慮した再生保全活動 1) 日向の森 2) 板川、埴谷の森	・林分状況確認(内製)、自然環境調査(委託)を実施し、データを蓄積する ・毎月1~2回の整備活動(第2・第4土曜日)を実施 ・定例活動の定着化を図る ・定例活動および企業向け体験の機会を活用し整備作業を進める	
		資源利活用 ① 間伐材、除伐材など林地残材の活用 ② 地域材の活用(企業向けノベルティなど)	・山武市が取組む「木の駅プロジェクト」への協力、間伐材搬出→木質バイオマスとして利活用 ・企業向けノベルティなどの製品開発、ニーズ把握	
		環境教育 ① 企業向け森林体験(研修・イベント)の機会提供 ② 森林体験イベントの開催、地域関連イベントへの協力	・企業研修プログラムの実施をサポートし、活動への理解を促す ・森林への興味関心を高め、活動への理解を促す	
	東御	再生保全 ① 生物多様性豊かな森の保全 ※1 ② 在来生物の生息環境の保全 ※1 ③ 森林土壌・水の保全 <減災・ECO-DRR>	・定期巡回(情報発信)・自然環境調査アテンド・蓄積したデータの活用 ・定期巡回(情報発信)・特定外来植物制御・地域関係団体との連絡調整 ・定期巡回(情報発信)	
		資源利活用 ① 森林資源の循環利用 ② 森林資源の慣習的な利用	・間伐材等の活用<森林環境教育の素材として活用> ・情報収集<信州の葉草文化・森林環境教育の素材として活用>	
		環境教育 ① 森林環境イベント<市民の集い> ② 森林環境イベント<自然観察会・講座> ※2 ③ 受諾プログラムの開発(中・高校生対象)(企業)	・幼児・親子の森あそび(地域交流・普及啓発) ・自然観察・森の生物多様性・森林の多様な機能・SDGs(普及啓発) ・森の生物多様性・森林の多様な機能・SDGs・保全作業(支援・普及啓発)	
	その他地域	① あいち海上の森 ② 丹波ウツェミタの森 ③ 臼杵の森 ④ 陸前高田 ⑤ 新たな協定締結地域の検討	・現地事務局との連携のもと、企業の森づくり活動を支援 ・年4回の再生保全活動、イベント開催 ・保全活動に関する指導を委託実施 ・上期、下期各1回の再生保全活動を実施 ・植栽地管理、活動準備を委託実施 ・上期、下期各1回の再生保全活動を実施 ・協定締結、森林整備計画への反映に向けた関与強化 ・新たに保全協定を締結する地域の選定、調査を実施	
		受託 ① 受託プログラムのサポート・連絡調整(郁文館夢学園)	・森の生物多様性とSDGs連動プログラム[レクチャー・コーディネート]	
	活用	① 夢ボードの普及	・郁文館様のモニター協力のもと、事業モデル化から展開準備を図る	
			サポーター/指定寄附増加に向けた対策	・事業活動、訪問機会を活用して支援を要請

## 2. その他

### 2-1. 会員募集

食品リサイクルループの構築、森林再生保全活動への参加を目的とした企業を対象に、SDGsへの貢献を訴求し、当法人の趣旨に賛同していただける賛助会員として積極的に募集を行っていく。

また、会費を特定の事業に用途を限定した寄附として扱う「サポーター」や事業指定寄附の獲得にも引き続き注力していく。

### 2-2. 広報活動

当法人の認知度を更に高め、資源循環や森林再生に対する意識を啓発するため、また支援者や参画者をより多く募るため、活動を更に広くPRしていく。

ホームページ、パンフレットの充実やニュースレターの毎月発行、フェイスブックや外部ポータルサイトの活用など、有益な情報発信の増強に取り組みたい。

### 2-3. 事業の推進体制

理事会または定例会を毎月開催することとし、迅速な意思決定と円滑な業務の遂行を図り、鋭意、事業推進を図っていく。

## 【2021年度の事業内容】

事業	課題・項目	2021年度活動内容
共通	① 賛助会員の入会促進	公益目的事業への理解と参画を促し、入会を促進 ・食品リサイクルループ構築、SDGs推進 ・森林再生保全活動、森林環境教育
	② 告知・広報活動	・ニュースレターの内容充実(毎月発行→季刊発行) ・ホームページ・フェイスブックの活用(内容充実と随時更新)
運営管理	・ 評議員会 ・ 理事会 ・ 定例会	・ 上期1回、下期1回を予定 (他、決議事項がある場合は随時開催) ・ 5月、6月、1月、2月は理事会として開催 ・ 平常月は定例会として開催 (決議事項がある場合は、理事会として開催)

以上

